

研究テーマ 全ての子供と教師がプログラミングを楽しむ東京都にする ～生成AI時代のプログラミング教育～

I 団体の概要

「東京都小学校プログラミング教育研究会」は、東京都小学校におけるプログラミング教育普及と充実を図り、教職員の資質向上に寄与するために、東京都プログラミング教育推進校の教員をはじめとした都内の教職員が中心となって発足した研究会である。

研究推進団体として認可され、毎年研究活動を深め、進めている。



II 研究のねらい

身近なもの・ことにプログラミングが関わっていることについて、コンピュータを用いて体験的に理解し、活用する楽しさを実感させる。

III 研究の内容

- ・プログラミング教育の研究（公開授業・教材研究など）
- ・資料作成や教材研究、教材体験、実践授業など
- ・プログラミング教育関連の情報発信（HP 参照）

前期は、講演会や研修・指導案検討会など、実践に向けて学んだ。

後期は、公開授業・事例発表、研修会を実施した。

※詳細は「IV 授業公開」「V 研修会」を参照

IV 授業公開

公開授業①小学2年生 生活「道案内をするには」
〈教材プログラミングカーを使って〉

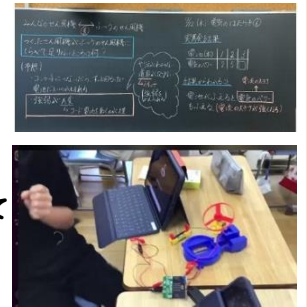
（授業者：岩井・稲田）

道案内をするときにどうはなしたらいいだろうか。実際にプログラミングカーを動かしながら、決めた行き先に行くためにはどのように案内したらよいかを考えて、プログラミングして発表し合い、活動した。



公開授業②小学4年生 理科「電流の働き」
（授業者：鴻巣）

電池の数も電流の量の関係を学んだ子どもたちが、理科の学びを活かして効率よく電気を使う扇風機を microbit（マイクロビット）を用いて作った。本単元は、理科に留まらず社会科の学びとも相互関連し、発電に携わる人たちの働きへの苦労や工夫について考える、公民的資質を育てる実践でもある。



公開授業③小学4年生 算数 面積

「いろいろな面積の図形を表現しよう」

（授業者：東井）〈講師 原田 康徳 先生〉

72 cm²の面積をプログラミング教材 viscuit（ビスケット）で作り、ロイロノートで共有した。作成やそのできた形からきまりや法則を身に付けることができた。



V 研修会

○プログラミング教育 明日会議 2024

(令和6年8月1日：国分寺市立第四小学校)

今年度は、AI時代におけるプログラミング教育をテーマに、現場の教育者たちが、最新の情報や実践例を共有した。今年度は、完全に現地開催とし、参加者が直接体験できるワークショップを中心に展開した。基調講演、鼎談、ワークショップという充実したプログラムで、教育の今と未来を考える場となった。

(詳細)イベントレポート

<https://blog.typet.jp/2024/08/ashitakaigi>



(写真：イベントの様子)



○連携研修 (令和6年8月)

東京都教職員研修センターと連携して研修を実施した。今年度は、8月末に行い、事例発表・実技研修の機会を作ることができた。

VI 研究の成果と課題・今後の活動予定

【成果】研修会や授業公開、東京都教職員研修センターと連携した研修、事例発表を通じて、参加者が実践を知る機会をつくることができた。今年度は若い会員の先生方が実践例を出しており、今後も意欲的に研修や実践を積み重ねていく予定である。

【課題】一人1台のGIGA端末が導入され、NEXT GIGAが始まっている学校現場ではよりよい活用方法が日々生まれ活用されていることと予想される。また、中学校・技術科との連携が求められる。中・長期的な視点での取り組みも必要である。

【今後の活動予定】日々の授業研究に加え、各地域の研修・授業支援や児童向けのワークショップを行う。プログラミング教育についての実践の普及と資質の向上の両方を維持しながら、本研究会は研究に取り組んでいく。

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都プログラミング教育研究会	
代表者	所属	杉並区立杉並第六小学校	
	職氏名	校長 豎山 浩人	
	連絡先	03-3314-2164	
事務局	所属	杉並区立沓掛小学校	
	職氏名	主任教諭 鈴木 康晴	
	連絡先	03-3390-4158	
団体ホームページ	URL	https://sites.google.com/view/tokyo-programming/	二次元コード